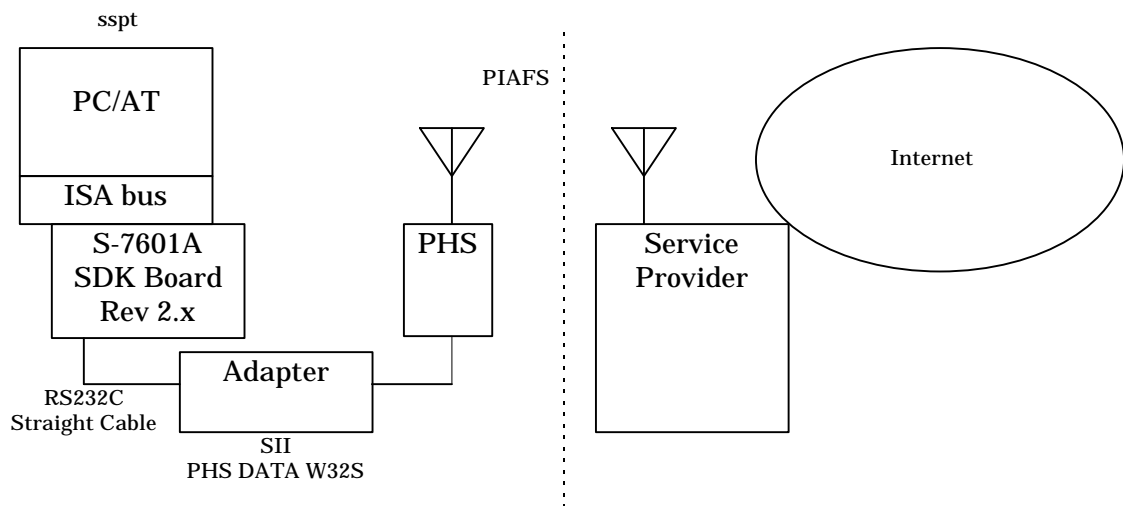


1 概要

ssptはS-7601A SDK Board for ISA BUS Rev 2.xを用いた、シリアルポート簡易ターミナルです。ここでは、ssptがSII製PHS DATA W32S MC-6630アダプタをATコマンドで制御する様子を説明します。また、PHS電話機からサービスプロバイダにダイヤルアップし、PPPを確立、切断する様子も示します。

2 システム構成



システム構成

ssptは上図のシステム構成で動作確認されています。その他のシステムでの動作は保証されません。

3 メインプログラムソースファイル名

sspt1x.c

4 注意事項

ここに掲載されたマニュアルなどの資料は、予告なく更新されることがありますので、実際のご購入に際しては、弊社営業担当までお問い合わせください。

評価用ソフトウェアは、お客様が製品をご評価いただくためにご用意しました。お客様の製品に実際に組み込むことをお約束するものではありません。

本書に記載される登録商標は、おのの個人の個人、団体が所有します。

本書、およびプログラムソースに記載される電話番号、ユーザ名、パスワードは実在のものではありません。

5 操作方法

PC/ATのMS-DOSプロンプト上で以下のように**太字部分**を操作します。なお途中中断する場合はESCキーを押下して下さい。

```
C>sspt
SII Serial Port sample program easy Terminal Ver.1.x
for S-7601A ISA SDK Board 2.x
(C) All copyrights reserved by Seiko I ASIC Co., Ltd. 2001.

Software Reset
Waiting for Dial Down ...
Serial Port receive buffer clear ...

Key in text.
And end with "Enter" for Send data with CR ( 0x0D ).
Or end with "Ctrl + Enter" for Send data without CR ( 0x0D ).
Key in "Tab" for exit Terminal mode.

AT[Enter]
AT
OK
ATE0V1&D2¥V1[Enter]
ATE0V1&D2¥V1
OK
ATS7=60¥N0%C0&K3B0[Enter]

OK
ATD プロバイダーの電話番号[Enter]

CONNECT 38400
Login:[TAB]
Waiting for Dial Up ...
Serial Port receive buffer clear ...
Waiting for PPP Up ...
PPP Information
Local IP Address : D3-80-E3-22, 211.128.227.34
Peer IP Address : 85-A0-91-0A, 133.160.145.10
MRU : 0x05F4, 1524

**** Menu ****      Key in Character      A : Application      E : Exit
E

Waiting for PPP Down ...
Serial Port receive buffer clear ...

Key in text.
And end with "Enter" for Send data with CR ( 0x0D ).
Or end with "Ctrl + Enter" for Send data without CR ( 0x0D ).
Key in "Tab" for exit Terminal mode.

NO CARRIER

ATH[Enter]

OK
ATZ[Enter]

OK
[TAB]
Waiting for Dial Down ...
Serial Port receive buffer clear ...

Software Reset
Normaly End

C>
```

6 S I I P H S DATA W32SのATコマンド概略説明

5 操作方法で使したS I I P H S DATA W32SのATコマンドについて概略を説明します。詳しくは、S I I P H S DATA W32S 取扱説明書を参照ください。

コマンド	機能	解 説
En	コマンドエコー	パソコンに対してコマンドキャラクターをエコーバックするかどうかを設定します。 n = 0 コマンドエコーしない n = 1 コマンドエコーする (default)
Vn	リザルトコード形態	各種コマンドを実行後、端末へのリザルトコードを数字 (短い形式) で返すか文字 (長い形式) で返すかを設定します。 n = 0 数字 (数字コード + CR) n = 1 文字 (CR + LF + 文字コード + CR + LF) (default)
&Dn	DTR制御	DTR (データ端末レディ) 信号の動作を制御します。 n = 0 DTRを無視。DTRはONとみなす。 n = 1 オンライン状態で、DTR信号がONからOFFになるとオンラインコマンド状態へ移行する n = 2 DTR信号がONからOFFになると回線を切断し、オンラインコマンド状態へ移行する (default) n = 3 2と同じ
¥Vn	拡張結果コードの選択	無線モデムでの通信時、リアプルトで接続されたときに、変調方式も含めたリザルトコードをパソコンへ返すかどうかを選択します。PIAFSでは単に"OK"を返します。 n = 0 リアップルトで接続されたとき、回線速度表示のみのリザルトコードを返す。 n = 1 リアップルトで接続したとき、変調方式も含めたリザルトコードを返す。
Sr=n	スレジスタ値の設定	rで指定したスレジスタの内容を設定します。 例) ATS7=60 スレジスタ(S7)の内容を60に変更する。
¥Nn	回線速度自動モード検出 イネーブル	モデム通信時における接続時の動作モードを設定します。 n = 0 ノーマルモードで接続する。エラー訂正モードはOFF、バッファによって通信速度を調節する。 n = 2 リアップルトを選択。モデムは最初LAPM接続、次にMNP接続を試みる。接続出来ないときはモデムをハングアップする。 n = 3 オートリアップルトを選択。リアップルト接続出来なかった場合、ノーマルモードで接続される。 n = 4 LAMPエラー訂正モードを選択。LAMPエラー訂正接続が出来なかった場合には、モデムはハングアップする。 n = 5 MNPIエラー訂正モードを選択。MNPIエラー訂正接続出来なかった場合には、モデムはハングアップする。
%Cn	データ圧縮制御	無線モデムでの通信時、データ圧縮セッションを行うかどうかを選択します。 n = 0 データ圧縮なし n = 1 MNP5データ圧縮をイネーブル n = 2 V.42bisデータ圧縮をイネーブル n = 3 V.42bisおよびMNP5データ圧縮の両方をイネーブル (default)
&Kn	フロー制御	フロー制御の設定をします。 n = 3 双方向ハードウェアフロー制御あり (RTS、CTS使用) (default)
Bn	ITU-T (CCITT) または Bellの選択	モデムの通信規格を選択します。PIAFSでは単に"OK"を返します。 n = 0 ITU-Tモード (default) n = 1 BELLモード